



ハイライトよねやま

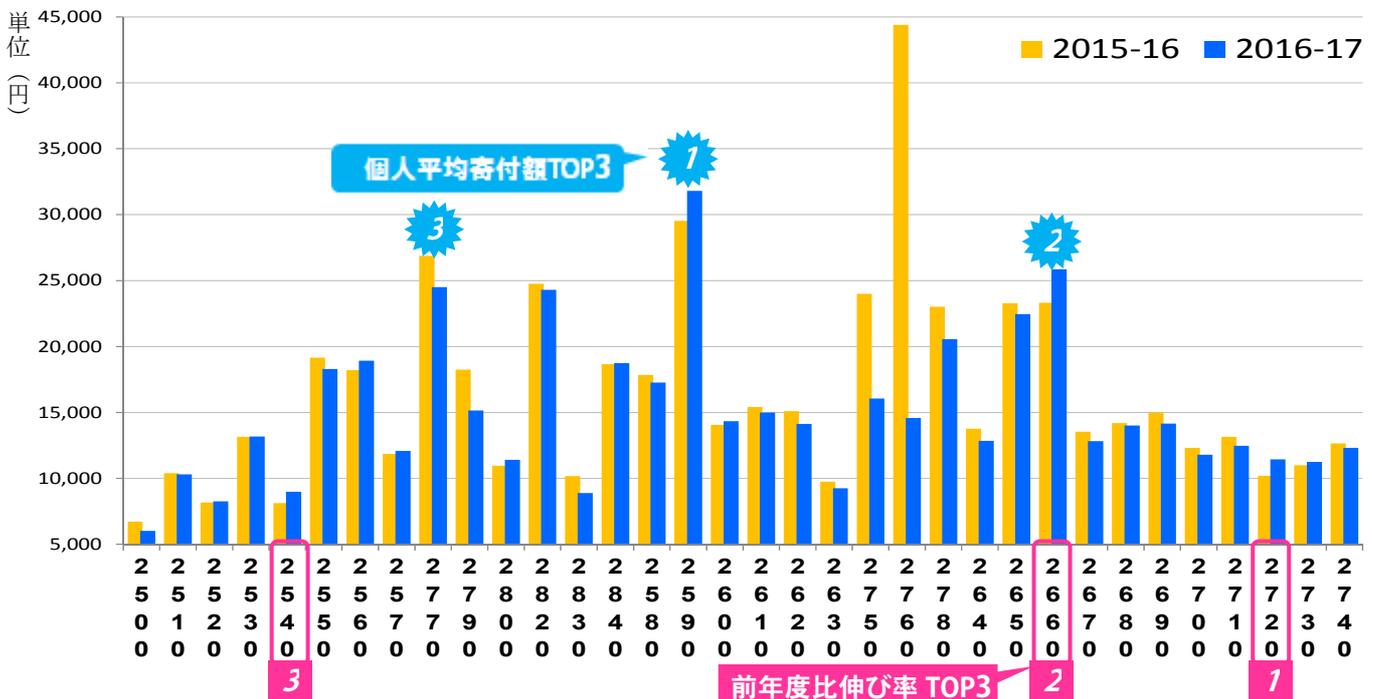
2017.7.12

Vol.208

2016-17 年度寄付金結果 — 予算達成しました —

2016-17年度の寄付金は約13億7,300万円でした。前年度と比べて13.0%減（普通寄付金0.8%増、特別寄付金18.0%減）、約2億円の減少となりました。前年度は大口寄付があり、減少幅が大きくなっていますが、予算額13億

3,000万円は無事達成することができました。会員皆さまのご尽力に深く感謝申し上げます。新年度も引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP 3

- ① 第2590地区：31,801円
- ② 第2660地区：25,854円
- ③ 第2770地区：24,498円

個人平均寄付額の前年度比伸び率 TOP 3

- ① 第2720地区：112.3%
- ② 第2660地区：110.9%
- ③ 第2540地区：110.7%

財団設立 50 周年記念誌を発刊しました！

財団設立50周年を記念して、奨学会史『ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ』を6月末に刊行しました。

本誌は、当事業の歴史を25年ぶりに編纂したもので、米山梅吉氏の生涯と東京RCによる米山基金の設立、財団法人化とその後の組織拡大、奨学事業のさまざまな試行錯誤と変遷、単立った学友の活躍など、現在に至るまでに当会が歩んだ歴史を余すところなく記録しています。このほか、国内外の全学友会の紹介、50周年記念特別座談会、年表などを集録。これを読めば、

よねやまの歴史がすべてわかります！クラブに1冊、お手元に1冊、米山記念奨学事業への理解促進に、ぜひご活用ください。限定3,500部、1冊1,800円（送料込）で頒布します。

お申し込みは当会HP50周年特設ページまで。



ネパール大地震義援金についてのご報告

ネパール大地震に際し、多くの皆さまから寄せられた義援金の最終送金を6月20日に完了しました。義援金総額14,042,247円は、3回に分けてネパール米山学友会口座へ送金しました(すべてUSD建て)。

第1回送金(2015年12月16日):5,000,000円

第2回送金(2016年6月23日):3,000,000円

第3回送金(2017年6月20日):6,042,247円

ネパール米山学友会ではいただいた義援金をもとに、2016年から地震の被災学生に奨学金を支給しています。昨年は厳正な選考を経て小学生～高校生まで25人の支援をスタートし、ネパールの教育制度で12年生の課程修了まで支援を約束しています。この支援計画は3,500万ルピーを基金としており、その利子収入で継続

支援することが可能です。今年度は引き続き23人を奨学生として支援するほか、この7月から被災地の村での新たな支援活動を計画しています。義援金の使途については、今後も続報が入り次第、随時報告してまいります。



学友会メンバーと2017年度奨学生

今年は浄水器を子どもたちへ — 上海米山学友会 —

上海米山学友会が今年も甘肅省臨洮県の小学校へ奉仕活動を実施しました。

標高2,600mにある苟家山小学校は、水が少ないうえ茶色く濁っており、児童や教員の健康を心配した学友会がお金を出し合い、今年も浄水設備2基を寄贈。7月3～4日にかけて、劉京榕会長以下学友有志7人と家族が遠路はるばる小学校を訪問し、学友や同行した家族も協力し



て算数や体育、音楽の授業を行ったほか、寄贈したボールで一緒に遊んだり、学友が手作りし

たナップサックをプレゼントしました。

上海米山学友会は昨年はパソコン、2年前には図書室を同校へ寄贈しています。教員から児童の学習態度が劇的に変化したとの報告を受けたほか、子どもたちから手書きのお礼の手紙を受け取り、感激もひとしおの訪問となりました。



50周年記念式典のご案内

ロータリー米山記念奨学会では、財団設立50周年を記念したフォーラムと祝賀会を来年2月4日に開催します。無事に財団法人として50年という節目を迎えたことを全国の皆さまと共に喜び、次の50年に向けて歩み始めるスタートにできれば幸いです。詳細は決定次第、当会ホームページに掲載し、次号の「ハイライトよねやま」でもお知らせいたします。皆さまのご登録をお待ちしています。

日時：2018年2月4日(日)

会場：グランドニッコー東京 台場

第1部 10:30～12:15(フォーラム)

第2部 12:30～14:30(祝賀会)